

<p>事案名</p>	<p>陸軍造兵廠曾根製造所（北九州市）の事案（福岡県 40 - 5）</p>
<p>フォローアップ調査資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『曾根兵器製造所 その歴史と背景』平成12年〔1〕</li> <li>・『毒ガス戦関係資料』1997年〔2〕</li> <li>・「終戦時各補給廠ノ化学戦弾薬ノ状況」（作成主体、作成年月日は不明）〔3〕</li> <li>・「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」〔4〕</li> <li>・「化兵剤及弾薬生産調査ノ件」12月26日〔5〕</li> <li>・Intelligence Report on Japanese Chemical Warfare Volume〔6〕</li> <li>・『朝日新聞』昭和47年5月27日〔7〕</li> <li>・医療手帳交付に対する事実調査の面接記録〔8〕</li> <li>・「昭和48年の『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査結果について」平成15年8月〔9〕</li> <li>・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について」〔10〕</li> </ul>
<p>追加資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔A1〕</li> <li>・旧軍毒ガス弾等についてのアンケート調査結果（元東京第2陸軍造兵廠曾根兵器製造所工務掛製函手・軍属）〔A2〕</li> <li>・『平成16年度B/C事案における第2次地下水調査業務報告書』〔A3〕</li> </ul>
<p>平成15年度フォローアップ調査報告書の要約</p>	<p>東京第2陸軍造兵廠曾根兵器製造所においては、毒ガスを砲弾や爆弾に充填する作業が行われた。保有した毒ガス類の全てを占領前に海中投棄したとする情報がある。なお、北九州地区内及び海中投棄を行ったとされる海域（別府湾、苅田港等）では発見・被災事例が生じている。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京第2陸軍造兵廠曾根兵器製造所は、昭和12年に当時の企救郡曾根村に開設され、昭和13年から19年まで、東京第2陸軍造兵廠忠海兵器製造所で製造された毒ガスを砲弾に充填する作業を行った〔1〕。</li> <li>・曾根兵器製造所での毒ガス弾製造量は、軽迫95式あか弾643, 580発、野山砲92式あか弾393, 260発、軽迫95式きい弾87, 566発、10榴93式尖鋭あか弾：83, 300発、10榴92式尖鋭きい弾149, 800発、15榴93式尖鋭あか弾18, 178発、全92式あか弾20, 622発、全92式尖鋭きい弾67, 000発、15kg投下あか弾9, 164発、97式50kg投下きい弾</li> </ul>

	<p>1,574発、100式50kg投下きい弾5,135発であった〔2〕。</p> <p><b>生産・保有情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終戦時に曾根兵器製造所には、各種あか弾3,409発・各種きい弾12,134発・投下きい弾7発・投下あか弾11発（以上計15,561発）が残存していた〔3〕。</li> <li>・終戦時に曾根兵器製造所には16,000発のガス弾が残存していた〔4〕。</li> </ul> <p><b>廃棄・遺棄情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終戦時に曾根兵器製造所に残存した50kg投下「瓦斯弾1403〔発〕八終戦時海没セルモノトス」とし、15kg投下あか弾については、「現在数3258八終戦時海没セリ」としている〔5〕。</li> <li>・米軍は、あか弾3,000発・きい弾955発及びあお弾448発は、日本軍により廃棄済であるとしている〔6〕。</li> <li>・終戦当時、曾根兵器製造所には50kg投下爆弾約1,000発・榴弾や軽迫撃砲弾等は20,000発単位で残っており、ガス液が100リットル入ったドラム缶も30～40本残存していた。これらは全部海中投棄することとなり、そのうち、ホスゲンと青酸の入った50kg爆弾は主に小倉北区藍の島周辺海域に投棄した〔7〕。</li> <li>・曾根兵器製造所に残存していた毒ガス弾等は占領軍がくる前に全て処分した〔1〕。</li> <li>・元曾根兵器製造所員の証言として、「終戦時に残存した毒ガス弾等は、津村島の沖、豊後水道、別府湾等に海洋投棄した」としている〔8〕。</li> </ul> <p><b>現在の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曾根兵器製造所は、現在陸上自衛隊小倉駐屯地曾根訓練所となっている〔9〕。</li> <li>・陸上自衛隊小倉駐屯地曾根訓練場周辺井戸の地下水調査結果によると、総砒素に関する異常はみられなかった〔10〕。</li> </ul>
新たな情報	<p><b>発見・被災・掃海等処理情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曾根兵器製造所跡地付近で、昭和38年11月25日にくしゃみ性ガス弾1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封して海中投棄した事案がある〔A1〕。</li> </ul> <p><b>その他情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元曾根兵器製造所に所属していた元軍属は、毒ガス弾の保管</li> </ul>

	<p>場所は「会計倉庫だと思います」とし、毒ガス弾等の種類については「きい・あか・あお・ちゃ・その他」と記している。また、製図室にスケッチ用として50kg爆弾の弾体を参考として置いていた、「終戦後、福岡県苅田町沖の海中に船で運んで投棄した、という話を、今から約10年位以前に聞いたことがある。しかしその人は既に故人となっている」とも記している〔A2〕。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔A3〕。</li></ul>
--	--